

# 地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

施設名：グループホーム・なかだ浜山の里

施設種類： 認知症対応型共同生活介護事業所（グループホーム）

日時： 令和8年1月29日（木） 会場・・・なかだ浜山の里 相談室

出席

(人数)

利用者	0名	高齢者福祉課職員	1名
利用者家族	0名	あんしん支援センター職員	1名
地域の代表	4名	施設職員	2名
第三者委員	0名		

## ① 事業所のサービス利用状況等について

令和7年11月27日 現在

性別	人数	介護度	人数	出身地	人数
男	4	要支援 2	0	出雲	13
女	14	要介護 1	3	大社	3
		要介護 2	4	平田	0
		要介護 3	4	湖陵	0
		要介護 4	3	斐川	1
		要介護 5	4	多伎	1
合計	18	合計	18	合計	18

\*利用者数 18 名

●平均年齢 【84.9 歳】

●平均介護度 【3.0】

●年齢別人

【70 歳代】 6 名 【80 歳代】 6 名 【90 歳代】 6 名

## ② 利用状況について

\*令和7年7月以降、入退所はありません。

\*80歳代の女性の利用者様が心筋梗塞で12月23日から1月15日まで入院されていました。現在は入院前とかわらないくらいまで回復されています。

## ③ 待機者状況について

\*入所申し込みは5件です。

## ④ 行事報告

12月16日にクリスマス会を開催しました。12月25日にはルーテル教会から子供さんの訪問があり、讃美歌を聞きました。久しぶりの外部の方の訪問で利用者さまは喜んでおられました。

## ⑤ 研修報告

12月26日に、ノロウイルスによる感染症の研修会をおこないました。

## ⑥ 感染症について

今の所、施設内で感染症の発生はありません。

## ⑦ 災害（地震）について

先日（1月6日）の地震はけっこう揺れてびっくりしました。昼間で、ほとんどの利用者様がホールにおられました。今回は、被害はありませんでしたが、もっと大きな地震の場合、どうすべきか検討が必要と感じました。2025年12月の補正予算で介護事業所を対象とした新たな支援策が発表されました。地震・豪雨・猛暑など、災害リスクが高まる中、はじめて防災備蓄品に対して国の予算が措置されるようなので事前に準備したいと考えています。

## ⑧ 外部評価について ・ ・ 別紙参照

### 【質疑応答】

- 【事業所】 1月6日の地震の際は、利用者様の安全確認とテレビで情報収集するくらいでした。今回は被害が無くて良かったですが、保育園は園庭に避難し、そこでの迎えだったそうです。施設での避難はどうしたらいいんでしょうか？
- 【委員】 保育園に迎えに行きましたわ。ただ先日は天気が良かったけど、天気が悪かったりすると外はどうなんでしょうね。
- 【あんしん職員】 地震の時は机の下に入るってことですが、利用者さんはしゃがめないし、どこの施設でも先日よりも大きな地震の際はどうすべきかわからないと言っておられましたよ。上から物が落ちてこないところでしばらく様子を見るしかないですよ。
- 【事業所】 ⑦で話しましたように防災備蓄品に対して支援があるようで、当施設が対象かどうかはまだわかりませんが、これだけ災害が多いので、ポータブル電源とか外での避難も考えておかなければいけないかもしれません。

運営推進会議で話しあう項目のみ、抜粋し、意見や感想をいただきました。

## 令和7年度自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	高松コミセンボランティアの方にきていただいたり、クリスマスにはルーテル教会の方にきていただいた。番茶会で認知症予防について話させていただく機会をいただき、利用者2名も参加させていただいた。その後、番茶会に参加されていた地域の方からのウエスの寄付があった。今後も事業所のことを知っていただけるように活動していきたいと思う。敬老会にはご家族、推進委員の方にご参加いただいた。	【質問】コミセンのボランティアの方はどんなことをされますか？ 【回答】定期的にウエスやゴミ箱の寄付があります。今年度はひな祭りの行事で来て頂きますが、歌や絵本の読み聞かせ、フラダンスなどをさせていただきます。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	昨年に引き続き、当施設で開催している。その都度、報告書を職員に回覧し、ご意見いただいたことは伝え、サービスに活かしている。	○意見なし		
4	市町村との連携	市町村担当者とは頃頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	市役所とのやりとりはメール、FAXがほとんどである。アンケート等は迅速に答え、わからないことは電話で質問し、対応してくださっている。	【質問】FAXですか？ 【回答】先日の地震(令和7年1月6日)の際も、即時に島根県健康福祉部高齢者福祉課からFAXで災害状況の報告の指示がありました。		
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	面会は基本は親族のみだが、ご家族の了承があれば友人なども許可している。年賀状のやりとりをしておられる方もおられ、対応している。	○意見なし		
II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							

17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. <input checked="" type="radio"/> あまりできていない D. ほとんどできていない	介護計画作成時、変更時はご家族に説明しているが、日々、ご家族と話し合うことは難しく、できていない。今年度は利用者すべての方のプランを見直し、郵送し、送り返していただいた。面会時に日頃の様子を説明し、ご家族の要望や意見を、伺うようにしている。ユニット内では定期的に各利用者の抱えている課題について話し合い、介護計画に反映している。	○意見なし	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 充分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族が県外の場合などは利用者の居室で一緒に過ごしていただいている。外出、外泊定期受診の対応など、ご家族からの要望には早急に応えるようにしている。	○意見なし		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. <input checked="" type="radio"/> ほとんどできていない	以前は買い物などに出かけていたが、高齢化に伴い、自力歩行が出来る方が少なく、地域へはでていないのが現状である。	【質問】必要なものはどうしておられますか？ 【回答】ご家族に依頼したり、生協を利用しておられる人は、カタログから選んでもらうようにしています。ご家族が依頼されれば職員で購入します。		
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 充分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的な訓練をおこなっている。近くに出雲ポンプさんがあり、協力いただいている。職員の入職が合った場合はとくにその職員を中心に訓練をおこなっている。	○意見なし	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 充分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	その人のやりがいを見つけ、例えば、編み物、脳トレなどをやっていただいている。調理、洗濯物たたみなど、できる仕事をいただいている。	○意見なし		

				誕生日にはその方の好物をお聞きし、提供している。			
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	希望には沿えていないが、定期的に外出支援を計画している。	○評価が低いように思います。施設側としてはいろいろ考えてやっておられると思います。		
IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)							
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	戸外に出かけたいという希望があっても職員都合でできていないことが多い。	○意見なし		
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ渦より、近隣の小中学校等とのかかわりもなく交流はできていない。	【意見】評価が上がるようにするにはどうすればいいかを相談されるのもいいと思いますが。 【回答】やはりコロナの影響が強く、学生さんの実習もこちらが可能でも相手側の事情で中止になることもありました。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	アンケートやご家族からの感想、相談員からの情報からも職員とは馴染みの関係ができていると思う。令和 7 年 5 月以降、入退所なく感染症の発生もない。利用者様は穏やかに過ごしておられる。	○意見なし	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	